

26-05-15

2026年度 名古屋鉄道 設備投資計画

～安全で快適な鉄道サービスの提供と沿線開発を推進～

名古屋鉄道では、「名鉄グループ中期経営計画」(2024年度～2026年度)に基づき、2026年度設備投資計画をまとめました。

2026年度においては、鉄道事業における安全・安定輸送確保および駅・車両の快適性向上に向けた投資のほか、沿線開発事業における戦略的な投資を継続して行います。

■ 設備投資計画の概要

事業	主な投資項目	金額
I.鉄道事業	1 安全・安定輸送確保 ・高架化工事の実施 ・高架橋柱等の耐震補強工事の実施 ・金山駅におけるホームドア設置のための駅改良工事の実施	180億円
	2 駅・車両の快適性・利便性向上 ・通勤型車両 500系および9500系、9100系の新造 ・駅改良・バリアフリー化工事の実施 ・新型改札機の導入 ・駅係員による介助のWEB予約サービスの導入	155億円
	小計	336億円
II.開発事業・その他	・商業施設「μPLAT 豊田市」の開発 ・名鉄岐阜駅 商業施設のリニューアル ・東岡崎駅前再開発計画の推進	109億円
	総合計	446億円

(参考)名古屋鉄道を含む名鉄グループ設備投資計画の総額: 1,225億円

I. 鉄道事業の主な項目

1. 安全・安定輸送確保

- 安全対策推進と都市計画事業の一環として、知立駅付近など 5 カ所で高架化工事を実施します。知立駅付近については、2026 年度中に名古屋本線（下り線）の高架切替を予定しています。

	区間	距離	除却踏切数
知立駅付近 (名古屋本線・三河線)	一ツ木駅～牛田駅間	1.6km	2 箇所
	重原駅～三河八橋駅間	3.4km	8 箇所
喜多山駅付近 (瀬戸線)	小幡駅～大森・金城学院前駅間	1.9km	8 箇所 (除却済)
若林駅付近 (三河線)	三河八橋駅～竹村駅間	2.2km	4 箇所 (除却済)
荏安賀駅付近 (尾西線)	二子駅～名鉄一宮駅間	1.8km	3 箇所
新清洲駅付近 (名古屋本線)	丸ノ内駅～大里駅間	2.8km	8 箇所

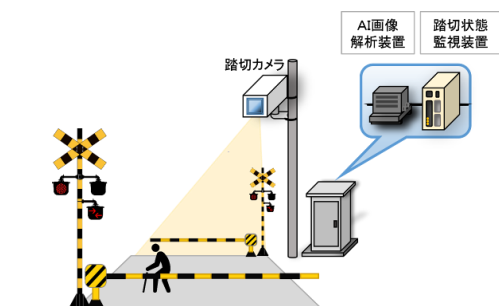


知立駅付近の高架化工事



若林駅付近の高架化工事

- 南海トラフ地震や近年激甚化している豪雨による被害を防ぐため、高架橋柱などの耐震補強や変電所の浸水対策工事をより一層推進します。
- より広範囲に列車の運行を制御できる列車運行管理システム(PTC)の導入を拡大し、さらなる安全性向上を図ります。
- 踏切障害物検知装置の更新や、AI 画像解析を活用した踏切監視システムの導入拡大により、踏切道の保安度向上を図ります。



AI 画像解析装置を導入した踏切監視システム (イメージ)



AI 画像解析装置により物体を検知している様子 (イメージ)

- 金山駅においてホームドアの設置工事に着手し、駅ホームの混雑緩和を目的とした駅改良工事を実施するほか、ホームドアの本設置に合わせた行先表示器の更新の検討を行います。



2. 駅・車両の快適性・利便性向上

- 車内の安全や環境に配慮した通勤型車両 500 系および 9500 系、9100 系を計 40 両新造します。

※500 系(6 両組成)1 編成、9500 系(4 両組成)5 編成、9100 系(2 両組成)7 編成



500 系



9500 系

- 東岡崎駅の自由通路の設置に合わせた橋上駅化、豊田市駅の北口改札の新設等の駅改良工事、および春日井駅の駅周辺で実施される区画整理事業に合わせた駅改良工事を進めます。
- 森下駅において、エレベーターの設置などのバリアフリー化工事を実施します。また、名電各務原駅、宇頭駅、大里駅において、バリアフリースイアの設置工事を行います。
- QR コードを利用した改札の通過にも対応した新型改札機の導入を開始します。
- 障がいのあるお客さまをはじめとした、サポートの必要なお客さまが駅係員による介助を WEB で予約できるサービスを導入します。

Ⅱ.開発事業の主な項目

○商業施設「μPLAT 豊田市」の開発

豊田市駅高架下にて開発中の商業施設「μPLAT(ミュープラット)豊田市」を2026年夏に開業します。

本施設は、当社および豊田市が推進する駅周辺の整備事業に合わせて開発を進めています。駅利用者と周辺居住者をターゲットとして、日々の暮らしを豊かにし、まちの賑わいに寄与する施設を目指します。



○名鉄岐阜駅 商業施設のリニューアル

名鉄岐阜駅エリアの賑わいとお客さまの利便性を維持するため、2024年9月に閉館した同駅の商業施設である旧・「ect(イクト)」のリニューアルを行います。



○東岡崎駅前再開発計画の推進

東岡崎駅再開発計画の開発コンセプト「SWING HIGAOKA」に基づいて、先行して2024年に駅南口を開業した「SWING MALL」に続き、岡崎市と連携しながら駅北口で複合施設の開発を進めていきます。

なお、北口複合施設は2029年度竣工を予定しています。

以上